



### 谷川 まゆみ

谷川まゆみ 検索  
ブログ



### 森 ゆき子

森ゆき子 検索  
ブログ



### 苦 瓜 かずしげ

苦瓜かずしげ 検索  
ブログ

# 県立循環器病センター 製鉄記念広畑病院 の統合・再編で 姫路の地域医療はどうなるのか？

## なぜ統合再編なのか

2病院の統合再編を話し合ってきた「姫路における県立病院のあり方検討委員会」は、去る3月29日、県に検討報告書を提出しました。両病院の現状と課題として、①姫路循環器病センターは本館整備後34年が経過しており、耐震規準も満たしていない。また、どちらも公共交通アクセスが悪い ②経常収支比率が減少傾向にある ③不足する診療科があり、合併症等に十分な対応ができない ④医師・看護師の確保が困難、ということで、これらの課題解決のため統合再編を行うとしています。

## 整備候補地は高等教育・研究エリアでよいのか？



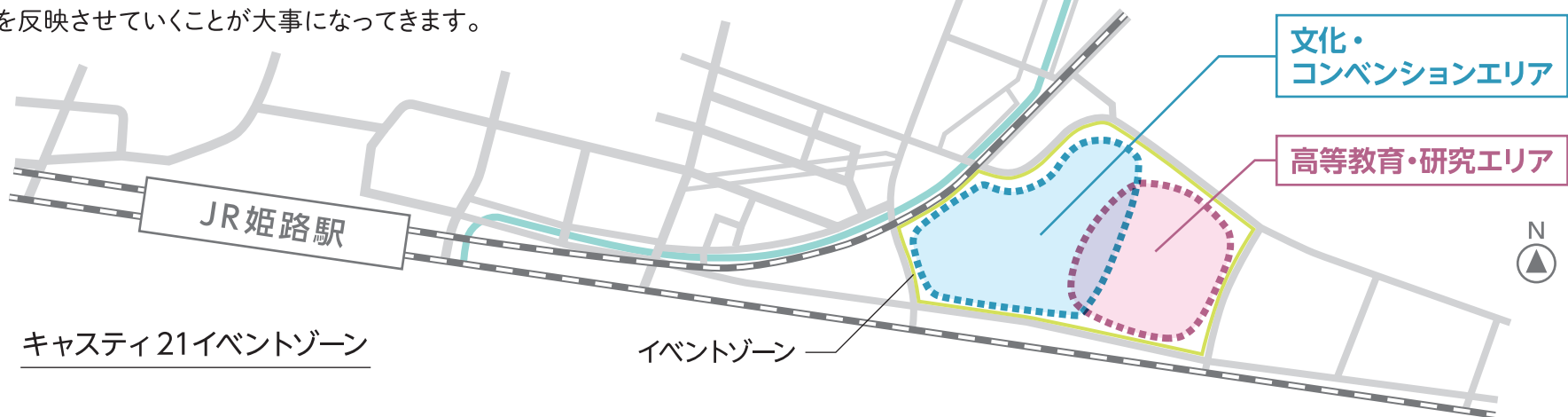
検討委員会は、「整備候補地は高等教育・研究エリアが最も相応しい」と結論付けていますが、すでにイベントゾーン西側では、新文化センターとコンベンション施設の建設が確定しており、今年度は実施設計が行われます。騒音や渋滞などの環境問題や総合病院として駐車場も含め十分な面積なのかという課題があります。また、一番の問題は、統合再編によって姫路市南西部地域に医療空白地ができるということです。新たな医療機関を誘致するとしていますが、明確になっていません。

## 姫路の地域医療と介護を守る会準備会が発足

今、安倍政権のもと社会保障の重点化・効率化が行われ、その一貫として病床数削減の「地域医療構想」が進められています。姫路市を含む中播磨圏域の医師数は、人口10万人当たり193.7人と全国平均の226.5人を大きく下回っています。また、救急搬送の状況は、重症患者のうち受入照会数4回以上の患者の占める割合は、9.5%と全国平均3.4%の約2.8倍となっています。さらに、国は今後「地域包括ケア」によって、「病院完結型」から「地域完結型」へと進めようとしており、地域の医療ニーズが一層高まってきています。

こうした課題があるなかで、姫路市は住民の地域医療や介護を守っていくための取組が求められています。また今後は、兵庫県や姫路市に対して情報公開・説明責任を求めながら、私たち地域住民の声を反映させていくことが大事になってきます。

「医療問題」学習会に参加の森・苦瓜議員



市民の声に  
こたえて  
実現しました



非婚のひとり親家庭の  
保育料にみなし寡婦(夫)  
控除が適用に

非婚のひとり親家庭の公営住宅使用料と保育料の算定について、寡婦(夫)控除の「みなし適用」をするよう要望してきたところ、9月からの公営住宅使用料の「みなし適用」に合わせて、保育料も適用されることになりました。

就学援助の  
認定基準が緩和に

生活扶助基準の引き下げに連動して、昨年度から就学援助認定基準の所得額が引き下げられていました。そのため、本会議等で取り上げた結果、2016年度は基準額の再引き下げを行わず、現行の認定基準を維持することになりました。

福祉タクシー  
チケット複数枚の  
利用可能へ

身体障がい者及び視覚障がい者1・2級で、福祉タクシーを選択している方は、タクシーチケットが年間48枚給付されていますが、1回につき500円券1枚しか利用できませんでした。「複数枚の利用を」と運動してきましたが、ようやく4月から1回につき3枚まで使えるようになりました。

# 食の安全を確保して!

## 中央卸売市場の移転予定地の **土壌汚染** 徹底した調査と情報公開を

土中に含まれるガス等、  
有害物質の調査に  
参加する森議員



手柄中央卸売市場の移転予定地である白浜町出光跡地において、法定基準値30倍のベンゼンと5倍のヒ素が検出された問題について、①移転計画ありきで、杜撰な調査をしないこと ②専門家会議による意見など情報公開を徹底し、市民への説明責任を果たすことを求め、市は「十分な調査と情報公開をする」と答弁しました。市が立ち上げた土壌汚染対策等の専門家会議では、「出光が行った99か所の土壌調査も含め、必要な追加調査を十分検討し、市場予定地全土壌を30メートル格子間隔、約150か所で調査が必要」との意見がとりまとめられました。その結果、市はこの会議の場で「市民の食の安全が最優先。会議での意見を十分検討する」との見解を表明しました。

私たち議員団としても引き続き、市民の食の安全と情報公開を求めています。

# 打越宮ヶ谷最終処分場

代表質問において廃棄物  
行政について質す谷川議員

## **不法廃棄物** の速やかな撤去を

成臨興業(株)が管理運営している打越宮ヶ谷最終処分場は、これまで不法投棄や区域外投棄などの違法行為を繰り返したため、平成26年6月4日に産廃処分業及び施設設置許可の取り消し処分を受けました。また、同時に改善命令も出され違法廃棄物10万㎡を、当面1万8千㎡については平成30年1月31日までに撤去するよう命じられています。

しかし、3月4日に行われた日本共産党の代表質問において、この間全く違法廃棄物の搬出が行われていなかったことが明らかになりました。改善命令を出した姫路市の対応が問われています。

また、成臨興業(株)は地元自治会に対して、「太陽光パネル設置

のための手続きを行いたい」との報告をしています。太陽光パネルの設置については、行政の許可は要りませんが、県の「林地開発

申請の変更手続き」が必要です。さらに、姫路市としては業者に対して違法廃棄物の撤去と事業の採算性について、行政と地域住民双方への説明責任を求めていくべきです。



### 請願に対する各会派の態度 ○賛成 ×反対

請願内容	日本共産党	市民クラブ	創政会	自由民主党	公明党	新生ひめじ	ひめじ未来力	おおさか維新の会姫路	結果
旧「姫路職業訓練センター」の貸館としての利用を求める	○	×	×	×	×	×	×	×	不採択
法曹人口政策の早期見直し、司法修習生への経済的支援の実施を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
基本的人権の尊重されるまちづくりの推進を求める	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

力をあわせ頑張ります

日本共産党市議団

谷川まゆみ 団長

厚生委員会  
姫路駅周辺整備特別委員会

森ゆき子 幹事長

議会運営委員、経済委員会  
子育て支援対策特別委員会、農業委員

苦瓜かずしげ 団員

文教委員会、地方創生・広域連携特別委員会  
姫路福崎斎苑施設事務組合議会議員